

権人 学習シリーズ

「さん」「くん」「どつち

泉台小学校 校長 小田切澄男

私は高校時代の苦い経験を思い出しています。I中学校から入学して来た多くの友だちは、ニックネームで呼び合っていました。入学間もない時でした。入学間もない時でした。で、本当の名前が分からないまま、私は同級生の一人をニックネームで呼んでしまいました。彼は大変立腹し「お前にそう呼ばれる筋合いはない」というのです。小さな中学校を卒業して高校に入学した私は、一遍に小さくなってしまいました。今、学校に勤務している者として、『誰にそう呼ばれても』気持ちよく人間関係が保たれる呼び方はどのような呼び方なのかと考えさせられます。『全ての人を』さん』付けで呼ぶことが大事』と強く言われる方がいらつしやいます。私もそのように思いますが、現実には難しいのです。学校の中でも「くん」「さん」「ちゃん」「呼び捨て」等混ざり合っています。学級の中で担任が子どもを呼ぶ時でさえ、「くん」「さん」「ちゃん」が混じり合っているのです。大人の一般社会の中でも同様です。年上の人には「さん」付けができて、年下の人を呼び捨てにしている状況も見えてきます。三歳のとき父親を亡くした人

が「中学生の頃から村の寄り合いに出ていたが、『○○くん』と呼んでもらったことがうれしかった。」と自らの気持ちを語り、幼い私を「澄男くん」と呼んでくれました。今は亡き人を懐かしく思い出します。女性の教師は、男児、女児をどう呼んだらよいのだろうか。男性の教師は、男児、女児をどう呼ぶことが常識かなうことなのだろうか。と迷うことがあります。相手を敬う気持ちを込めた呼び方とはどんな呼び方なのでしょう。子ども達に真似をされても良い呼び方、子ども達がどのような場でも自信をもって使うことができる呼び方(呼称のあり方)を一度みんなで考え合いたいと思います。学校も新しいスタートの時です。我が校でも、職員会で検討を頼み、勇気を持って提案を試みてみたいところです。因みに、野球解説者の掛布雅之さん(元阪神タイガース選手)は、野球解説の中でも選手の名前に必ず「くん」付けをしていることに気がきました。相手を敬う気持ちを込めた人間関係づくりに努めたいと思っています。



【地区館情報】

飯山

◇冬期老燃教室開催

例年4月から11月の間、月2回開催している「老燃教室」ですが、参加者から冬期にも開催をという要望を受け、今回初めて冬期における老燃教室を3月20日・27日の2回飯山市公民館講堂にて開催しました。



以外に講習だった公式輪投げ

30分ほどのミニ講演等の後、市体育指導委員の出前講座で軽体操やニュースポーツを行い、今冬の運動不足の体を動かし、4月10日からの19年度老燃教室へのステップと

木島

◇地区集落院役員研修会

3月18日(日) 木島公民館で40名ほどの参加者のもと「これから始まる裁判員制度」・「男女共同参画啓発」のビデオ鑑賞で懇談会を行いました。

◇木島ウオーキングサークル

毎月第一月曜PM7時30分〜9時 申込期限4月27日(金) 毎月第二・四水曜PM7時30分〜9時 随時募集しています。

◇「男も厨房に入る講座」

毎月第一火曜PM6時〜8時 申込期限5月10日(木) お申込みお問い合わせは木島公民館TEL620555)まで。

瑞穂

◇すつきり!

ボデイエクササイズ 2月から3回にわたり「すつきり!ボデイエクササイズ」講座が、15名の参加者で楽しく行われました。



《美術館の展示活動情報》

春の草花がいつせいに花開くこの季節は、美術館で年2回行っている展示替えの時期でもあります。通常、美術館では約130点の収蔵作品と個人の方々から借出させていたただいている作品の中から60数点を常設展示しています。主な展示作品は、長谷川青澄(日本画)・宮沢鉄夫(日本画)・相原求一朗(洋画)・佐藤武造(水彩や漆絵)・浦野吉人(洋画)・駒村久弥(洋画)など、郷土出身あるいは郷土にゆかりのある芸術家の絵画作品



品が中心となっています。今月17日からまた新たな常設展示が始まりました。一部は引き続き展示される作品もありますが、逆に普段あまり展示されることのない作品が登場することもあります。美術館の常設展示で新たな発見をしていただきたいと思います。美術館の展示活動は、常設展のほかに毎年秋に開催している企画展と年間3〜4回開催しているギャラリー展があります。企画展についてはまた今後ご紹介させていただくことにします。ギャラリー展では現在活躍している現役の芸術家を市内外を問わず取り上げ、個展やグループ展形式で作品をご紹介するなどしています。常設展示・企画展・ギャラリー展ともにますます幅広い内容の展示を目指していきますので、これからも美術館の展示活動にご期待下さい。

ふるさと館 春の企画展 「飯山の峠、歴史と文化が眠る道」

信濃と越後を結ぶ飯山の峠道は、交通の要所として盛んに利用されました。戦国時代、富倉峠と関田峠は上杉謙信が川中島へ出陣する際に通ったといわれている軍用路でした。また、近世には信濃と越後の物資の輸出入に利用され、なくてはならない重要な道でした。これらの峠道の歴史を通じて、飯山の人々にとつての生活や文化の入り口であった峠道を概観します。

- 期間 4月24日(火)〜6月24日(日)
■場所 飯山市ふるさと館
■休館日 5月1日、7日、14日、21日、28日、6月4日、11日、18日

外様

講師の井出清子先生の指導のおかげで、身も心も少しはすつきりできたのではないのでしょうか?程よい運動とストレッチが大好評で、今後はサークルとして継続していくことになりました。新規加入者も募集していますので、瑞穂公民館(652501)にお問い合わせください。

◇ギフチョウ・ヒメギフチョウ・カタクリの花観察会

4月28日(土) 黒岩山にて開催を予定しています。午前9時信濃平観光協会駐車場へ集合ください。

◇ふれあいソバ打ち体験教室

3月18日(日) 外様地区公民館で開催しました。



当日は、森の家のインストラクターの丸山信之さんを講師に、初心者から自称そば打ち名人まで19名の参加があり、講師の説明に真剣にメモ

を取りながらソバ打ちを体験しました。また試食では、色んなソバを食べ比べてみると、ソバを肴に会話もはずみしました。

◇春休みお楽しみ会

3月23日(金) 地区子ども会育成会と共催で開催しました。ジョーさんとおう!あそんじやおう!と題して国際交流員のジョーさんと一緒にイギリスの伝統料理づくり挑戦しました。イギリスの遊びも教わって、春休みの半日を楽しんで過ごしました。



常盤

常盤公民館 文化交流会開催中!



太田

◇遊タンプの会紹介

太田公民館サークルで「遊(ゆう)タンプの会」。5年前にパッチワーク教室でスタートして、その後サークルとして活動を続けております。古い布を収集して大切にしながら作品を制作しています。現在会員は、10名ほどです。ゆつくり楽しみながら長く活動していきたいと思っております。やってみたいなという方がおられましたら、太田公民館までご一報ください。太田公民館 TEL654579

岡山

盛況!囲碁将棋麻雀大会!

3月4日開催しましたが、今年はいよいよ小学生も参加し、手の空いた棋士に手ほどきを受けました。

また、平行して行われた「中国ギョーザを楽しむ会」では、中国より研修生として岡山に來ている若い女性方々に家庭料理を作っていたいただき、皆で食しました。ゲームと料理の両方を一度に堪能できた一日でした。